

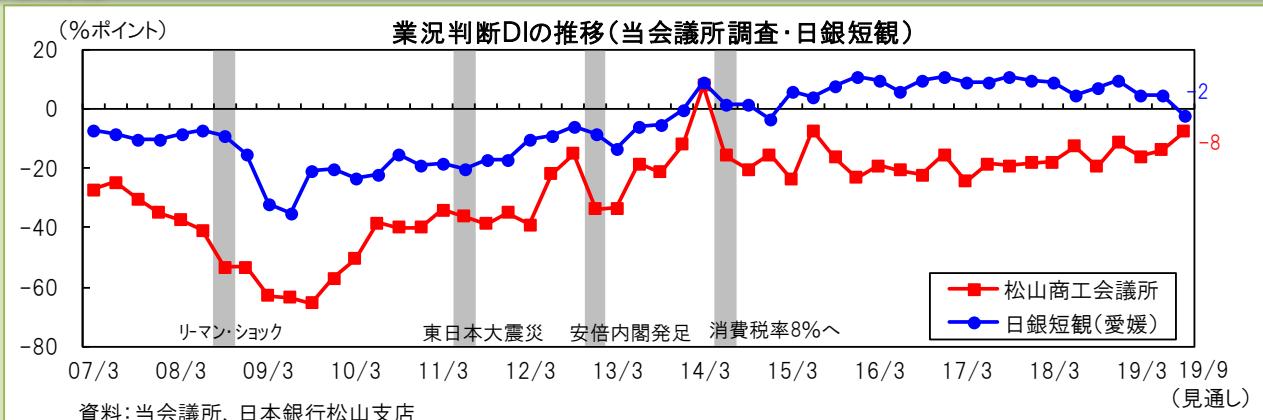
松山つばきレポート

《松山地域の企業を取り巻く外部環境の動き》

◆ 愛媛県経済概況

生産活動は、鉱工業生産指数(6月)が2カ月連続で前月を上回った。個人消費は、主要6業態別小売店(百貨店・スーパー、専門量販店)の合計販売額が概ね前年を上回って推移するなど堅調な動きが続く。雇用情勢は、有効求人倍率(7月)が1.60倍(季節調整値)と引き続き高水準を維持。一部に中国経済減速などの影響がみられるも、全体としては緩やかな景気回復が継続。

景況感



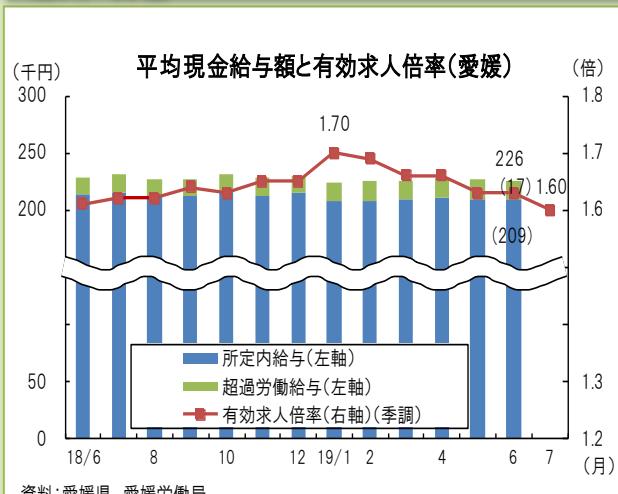
企業経営者のマインドを示す業況判断DIは横ばいが続くが、先行きは悪化。中小企業のマインドはやや上向き。

消費



消費支出は気温や天候による影響を受けつつも、持ち直しの動き。

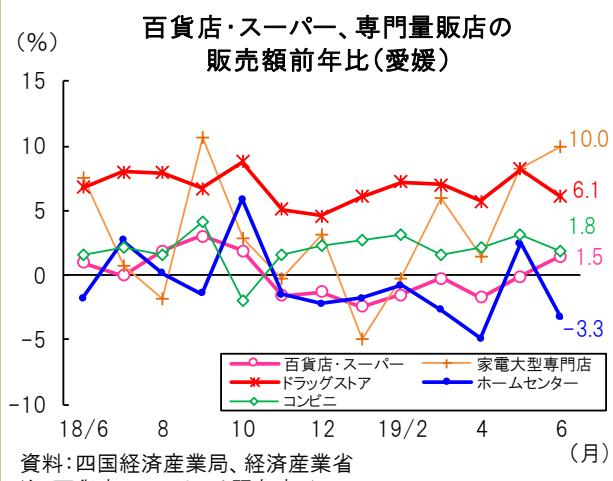
雇用・賃金



有効求人倍率は19年1月に過去最高の1.70倍を記録。その後も高水準での推移が継続。

◆需要動向

流通



【小売販売額】

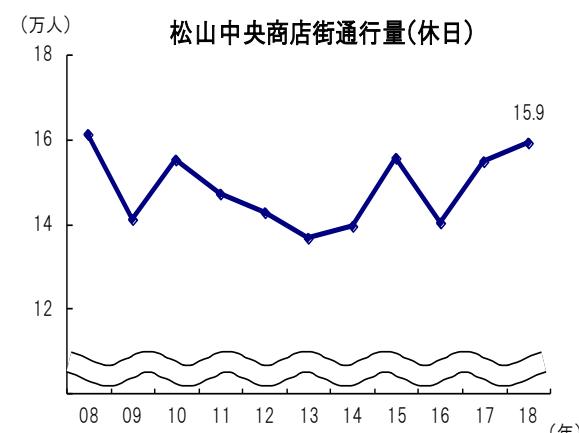
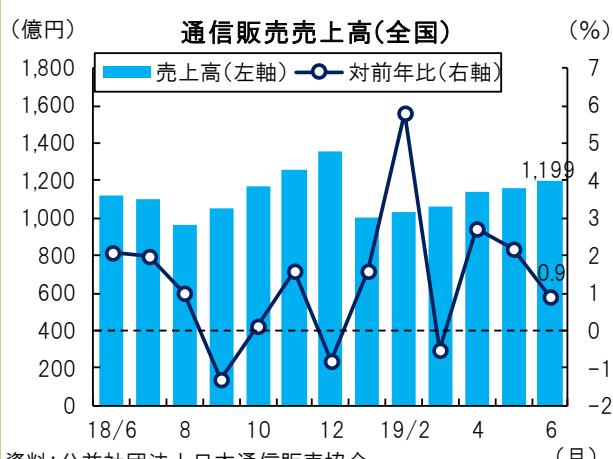
ドラッグストアは店舗増で売上拡大。スーパーは食料品が堅調。全体としては持ち直しの動き。

【通信販売売上高】

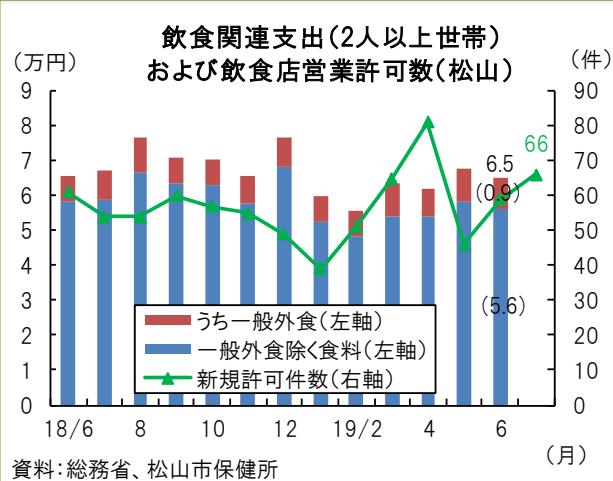
商品ジャンル別では化粧品などの「雑貨」が堅調な一方、「通信教育・サービス」は前年を下回る。

【松山中央商店街通行量】

18年は前年比3.0%増の15.9万人。千舟通り沿いの通行量が大きく増加。

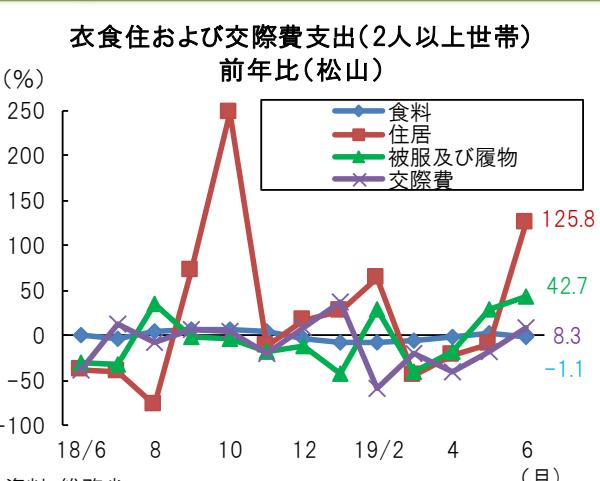


飲食



一般外食除く食料は前年を下回る一方、一般外食への支出は前年を上回る傾向。

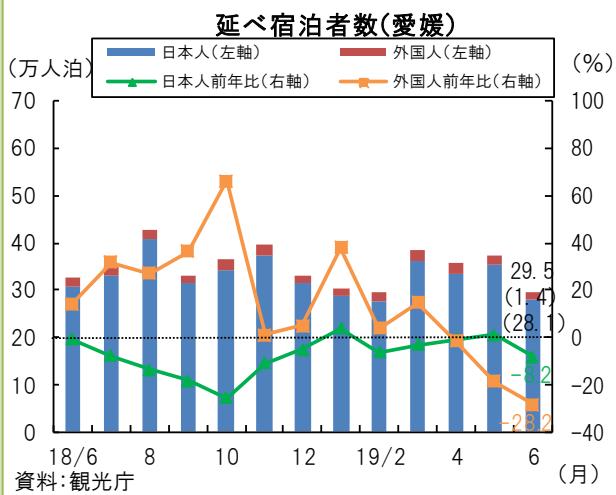
その他サービス



衣食住および交際費支出は19年4月以降持ち直しの動き。

中需要動向

観光



【宿泊者数】

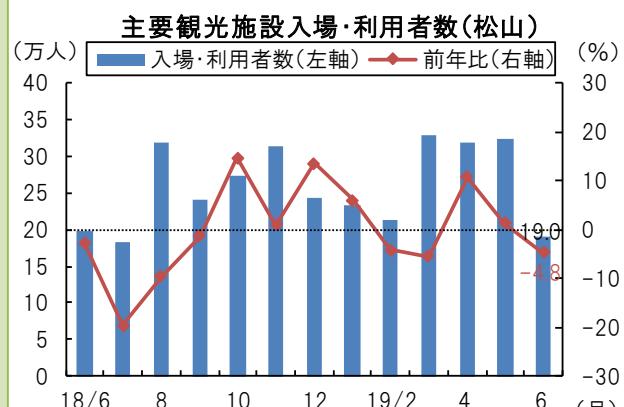
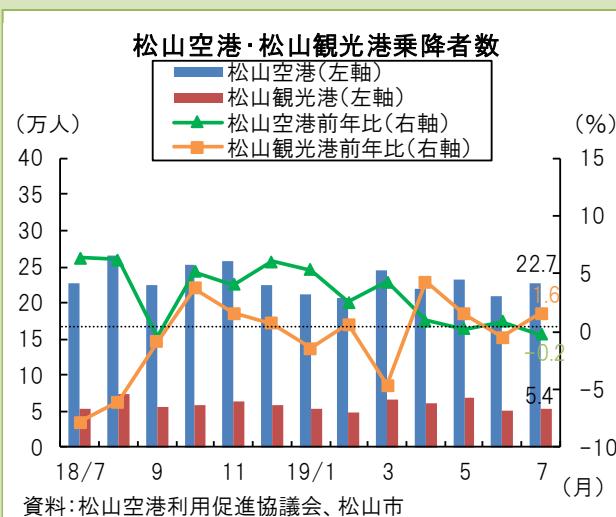
外国人延べ宿泊者数は4月以降前年比減の傾向が続く。

【松山空港・観光港利用状況】

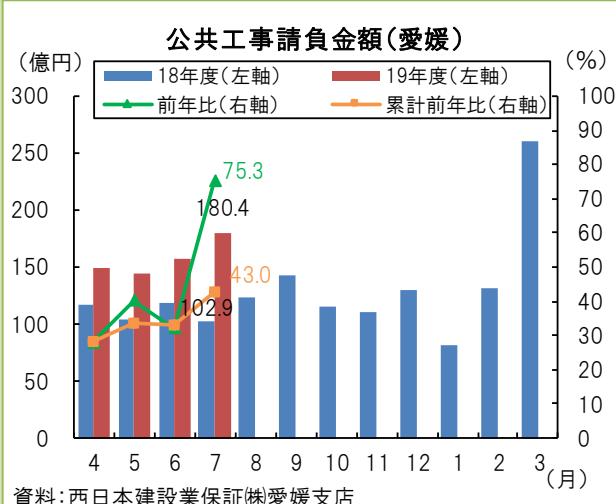
松山空港の前年比伸び率はソウル線の増便期間が終了した影響を受け、4月以降鈍化。

【観光入込状況】

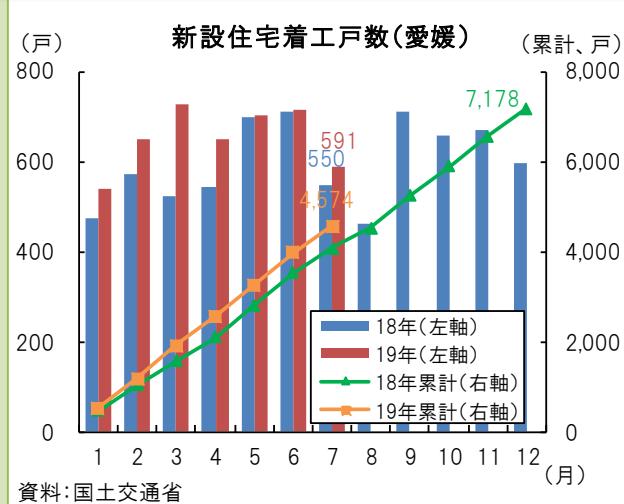
工事の影響で道後温泉本館の入込客数は前年を下回る動きが続くが、その他の観光施設は概ね堅調。



建設



西日本豪雨の復旧・復興工事の本格化、大型案件の発生等で、19年度は前年を上回って推移。

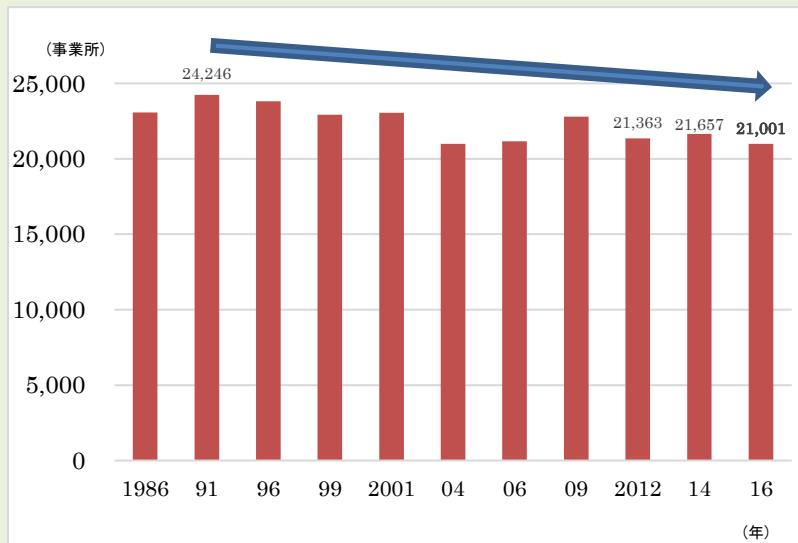


19年累計は前年を上回って推移。松山における分譲マンション建設の動きがけん引。

◆事業所数の変化

松山市の事業所総数(民営)の動向

事業所総数（民営）の推移



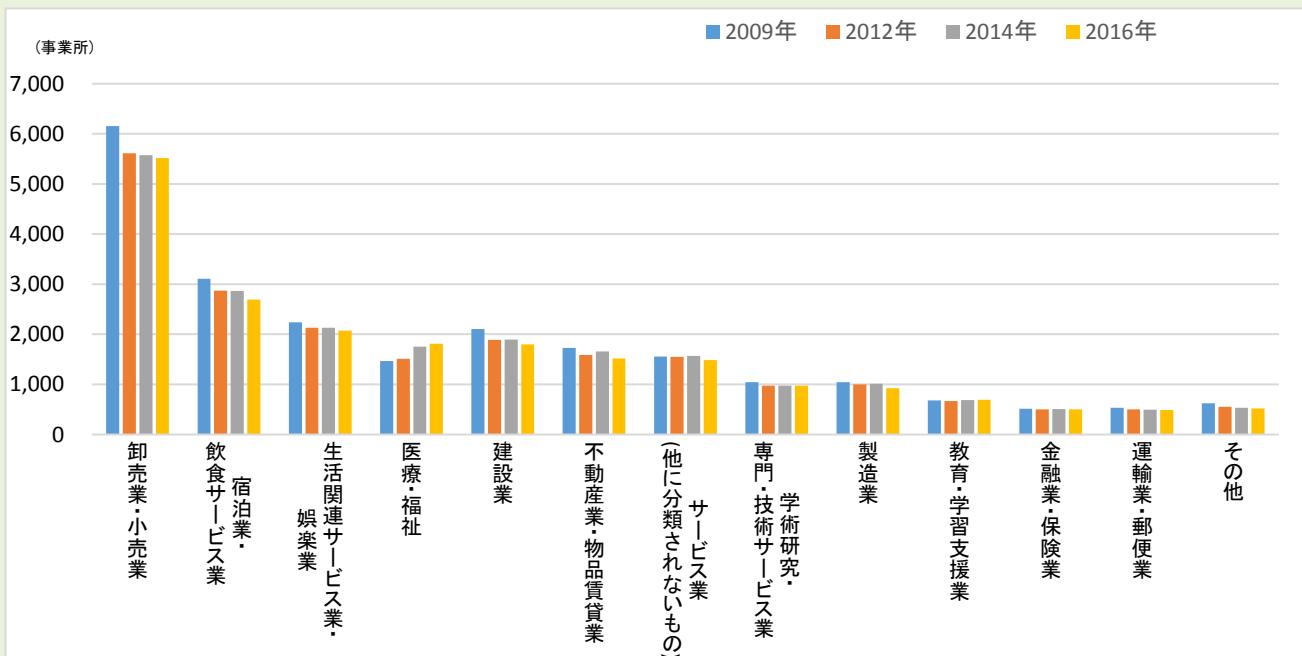
松山市の事業所数（民営）は1991（平成3）年をピークに減少に転じているが、2012（平成24）年以降ほぼ横ばいとなり、2016（平成28）年は21,001事業所となっている。

資料：総務省・経済産業省「経済センサス（2009～16年）」、総務省「事業所・企業統計調査（1986～2006年）」

注：事業所・企業統計調査と経済センサスは調査方法が異なるため、06年と09年の差数が全て増加・減少を示すものではない。

松山市の業種別事業所数の動向

業種（大分類）別事業所数の推移



資料：総務省・経済産業省「経済センサス（2009～16年）」

松山市の業種（大分類）別の事業所数は、2009（平成21）年以降、一貫して増加しているのは「医療・福祉」のみで、増加数は大きい。一方、事業所数が多い「卸売業・小売業」や「宿泊業・飲食サービス業」は一貫して減少しており、これらの業種や建設業では減少数が大きくなっている。

【本レポートに関するお問い合わせ】

松山商工会議所 経営支援部

TEL:089-941-4111

FAX:089-947-3126